

幸南の風



令和4年10月13日 校長 伊藤 公一 第11号

2学期始業式の話 10月13日(木)



校長先生は秋休み、6月6年生と一緒に修学旅行に行った福島県会津地方に行って只見線の電車に乗ってきました。豪雨で被害を受けたJR只見線が11年ぶりに今年10月1日全線で運転を再開しました。只見線は、会津若松（福島県会津若松市）—小出（新潟県魚沼市）間の135.2キロを結んでいます。2011年7月の新潟・福島豪雨で橋梁が流され、会津川口（福島県金山町）—只見（同県只見町）間が不通になっていました。片道約2時間半、往復で5時間の電車の旅でした。とてもうれしかったのが、走っている電車に住民の方がどこでも手をふってくれたことです。実は、この只見線にみんなで手を振ろうという条例ができて、乗客へのおもてなしの気持ちを示すことにより、只見線への愛着をさらに深め、力強く走る只見線を応援するために手をふってくれたというわけです。

もう一つの場所は、ブリティッシュ・ビルというところを見てきました。ここは、中世イギリスの建築や街並みを体験できる施設でした。小学生から大学生までが泊まりながら、英語の勉強ができる施設で、校長先生が行った日も、埼玉県の高校生が英語の授業を受けていました。この施設では日本語ではなく英語で話すところでした。

2つ目の話です。これは、何でしょう。持続可能な開発目標のことでSDGsと言います。環境問題や福祉や平和の問題など世界的な様々な問題の解決方法を考え、地球上の全ての人々がいつまでも健康で幸せに暮らせるようにしていくための17の目標です。

5・6年生は、すでに勉強していると思いますが、この言葉を初めて聞く人もいるかもしれません。しかし、皆さんがすでにやっていることも多いのです。例えば、歯磨きの時に水を出しっぱなしにしないとか、教室に誰もいないときには電気を消すとか、買い物に行ったときにマイバックを持参してレジ袋を買わないとか、やっている人もたくさんいますよね。

水を出しっぱなしにしないというのは目標6（誰もが安全な水とトイレを利用できるようにしよう）の取組、教室の電気を消すことは目標7（エネルギーをみんなにそしてクリーンに）の取組になります。そして、元気にあいさつしようは目標17（世界の全ての人々が協力し合い、17ある目標を達成しよう）につながる大切なことです。SDGsがゴールを迎えるのは、2030年です。皆さんは何歳になっていますか。皆さんが大人になって目標を達成するためには、今から取組に参加することが大切です。「自分さえよければいい」という考えではなく、地球に住む全ての人が、誰1人として取り残されず、幸せに暮らせる世界を実現するために、皆さんもSDGsを意識して行動しましょう。

2学期は、学習発表会をはじめ、いろいろなことが予定されています。特に、6年生の皆さん、皆さんにとって、この学期は小学校最後の学期、とても大事な学期になります。また、1年生から5年生もこの2学期、しっかり学習や運動に励んで下さい。